

家庭教育支援チーム・リーダー養成講座① 実施レポート

日時：平成30年7月6日（金）10時～15時

会場：秋田県生涯学習センター 3階 講堂

参加者：52名（うち市町村等から43名）

今年度から、当センターが主管して「家庭教育支援指導者等研修」を開催することになりました。今回は、「家庭教育支援の優れた活動事例を知ろう」というテーマで、11の市と町から集まった方々が協議やグループワークを交えた研修に取り組みました。

【午前の部】

はじめに、実践紹介として青森県で先進的な取り組みをされている「子育て応援隊・ココネットあおもり」の沼田久美代表理事を講師にお迎えし、「みんなで子育てする社会づくりのために」という演題で講義とグループワークを行いました。ココネットあおもりでは、(1)子育て当事者が本音で語り合える場としてのNP（ノーバディズ・パーフェクト）プログラム、(2)先輩ママによる家庭訪問型の子育て支援であるHS（ホームスタート）、(3)青森県立保健大学や青森市役所庁舎内で開設しているココカレッジとさんぽぽという集いの場づくり、この3つを大きな事業の柱として、活動されているとのことでした。また、グループワークでは、自分が経験してきた子育て時代と現代の子育て環境を比較しながら「なぜ家庭教育・子育て支援が必要なのか」について考えたり、みんなで子育てする社会づくりのために「自分にどのような関わり方ができるか」について意見を出し合ったりしました。



<パワフルな沼田氏の指導に感動！>

沼田氏は「私たちは“教える人”ではなく“寄り添う人”なのだから、子育て中の家族を温かな思いと眼差しで応援していけば、支援者として助け合う社会に貢献できると確信しています。みんなで楽しく活動を続けていきましょう！」と受講者にエールを送り講義を締めくくられました。

【午後の部】



<市町村・チームごとの協議の様子>

午後の部では、県教育庁生涯学習課の森川勝栄社会教育主事が、「秋田県の家庭教育支援の現状と課題」について講義を行いました。特に、森川氏は「少子化・引きこもり・社会格差と貧困・ネットトラブルなど、家庭と子どもの育ちをめぐる問題が複雑化している現代こそ、地域のつながりが創る切れ目のない豊かな家庭教育支援が求められている」ことを強調されていました。

その後、受講者は各市町村（あるいは実際に活動しているチームごと）にグループになり、様々な事例を参考にしながら自分の市町村で今後チャレンジしてみたい家庭教育支援の活動について話し合いました。意見交換を通じて、チーム内の結束力の強化や日頃の活動の見直しを図っているグループもありました。



<ポスター形式での意見交換の様子>

【参加者の声】（抜粋）

- ・NPO活動としての視点は、大変参考になりました。
- ・県外の先進事例にとっても刺激を受けました。
- ・家庭訪問型子育て支援の取り組みは“できない”と思っていたが、実際実践されているチームを見聞きして希望がもてた。簡単ではないが、他のチーム員と勉強会からはじめたいと思った。
- ・ポスターセッションでの各地区の取り組みを見せてもらい参考になった。
- ・今日参加できた人たちで、自分たちの地域でもチーム作りができそうです！